

めす Swagelok チューブ継手は、3つのシンプルな手順で取り付けることができます。

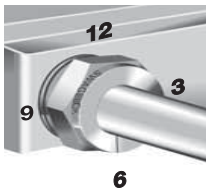


手順 1

チューブをめす Swagelok チューブ継手に差し込みます。チューブが継手ボディの中の肩に確実に当たるのを確かめ、Swagelok おすナットを指締めします。

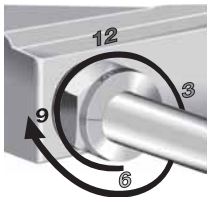
手順 2

ナットに時計でいう 6 時の位置に目印を付けます。



手順 3

ボディを固定し、Swagelok ナットを $1\frac{1}{4}$ 回転まわします。ちょうど目印がもとの 6 時の位置から 1 回転した後、さらに 9 時の位置までまわることになります。サイズが $\frac{1}{16}$ インチ、 $\frac{1}{8}$ インチ、 $\frac{3}{16}$ インチ、2 mm、3 mm、4 mm の Swagelok チューブ継手の場合は、 $\frac{3}{4}$ 回転まわしてください。ちょうど目印が 3 時の位置に来ることになります。



継手が十分に締め付けられているかどうかを確認する場合、Swagelok ギャップ検査ゲージを使用してください（初回取り付け時）。

めす Swagelok® チューブ継手

取り付け方法

めす Swagelok チューブ継手は、標準の Swagelok チューブ継手に比べ、チューブ内径部が深くなっています。そのため、めす Swagelok チューブ継手は以下の製品と併用することはできません。

1. レデューサー
2. チューブ・アダプター
3. 予備締め付けツールを使用して予備締めを行ったチューブ・エンド
4. Swagelok チューブ継手に締め付けたことがあるチューブ・エンド

注意：他社部品との混用や互換は絶対に行わないでください。

エンド・コネクションが Swagelok チューブ継手のバルブの場合は、最高使用圧力が低くなる場合があります。詳細につきましては、『Swagelok チューブ技術資料』（MS-01-107）をご参照ください。

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok®

www.swagelok.co.jp

Swagelok — TM Swagelok Company
© 2008 Swagelok Company
December 2008, Rev D
MS-INS-FSJ-E
C10P